

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-19 高齢者生活支援事業 □支援部門						
主管課	高齢者いきいき課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	低所得者に対しても介護保険法外においても負担軽減を図る。						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人			
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
運営資源状況	事業の対象者数	330人	301人				
	決算値(千円)	12,297	12,587	16,036			
	(国・県)	0	3	0			
	(負担金等)	0	0	0			
	(一般財源)	12,297	12,584	16,036			
	人員配置数	0.4	0.4	0.4			
	人件費(千円)	3,652	3,559	3,746			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	15,949	16,146	19,782			
	市民1人当りの経費(円)	90	91	112			
	対象者1人当りの経費(円)	48,330	53,641				
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
紙おむつ等支給達成率	◎	目標値					
		実績値	100.0%	100.0%	100.0%		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
高齢者生活支援事業	12,297千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	要介護3~5の認定者、要支援1・2または要介護1・2の認定を受け失禁を伴う認知症のある方(いずれも低所得で在宅の方)に対する紙おむつの支給や、介護者の入院など緊急でショートステイを行う等により、介護者等の負担軽減を図る。			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	高齢化が進展し、紙おむつを必要とする対象者は増加傾向にあり、サービス内容を維持したままで予算を確保することが課題となる。
課題解決のための取組	紙おむつの品目を増やしたり選択の仕方を変更したりし、利用者のニーズにこたえるように支給方法を工夫した。
未解決の課題	紙おむつ支給基準の見直しや自己負担金の導入について検討しなければならない。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
			紙おむつ支給基準の見直しや自己負担金の導入について検討することが必要である。特別ショートステイについては受入れ施設を増やしていく。	↓ B	課長等名 高齢者いきいき課担当課長 内海 春信

## (2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
高齢者生活支援事業	主な個別事業	40 訪問介護利用者負担軽減措置事業診査手数料	3	0	■適切 □見直し余地あり
		40 紙おむつ支給事業委託料	10,037	8,187	■適切 □見直し余地あり
		40 社会福祉法人等利用者負担額軽減制度事業補助金	50	0	■適切 □見直し余地あり
		1,197 特別ショートステイモデル事業	4,620	4,110	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり